

平成24年度 第5回美幌町行政改革推進委員会会議録要旨

開催日時	平成25年3月28日 18時30分～20時00分
開催場所	しゃきっとプラザ会議室(1)
出席者	森暉夫会長 池功司委員 大津和博委員 小川孝男委員 加藤千鶴子委員 倉知輝信委員 白石さよ委員 久山邦徳委員
欠席者	志布純子委員 福田哲司委員
町側	土谷町長 平井総務部長 武田政策主幹 後藤政策担当主査 大内
傍聴者数	なし
議題	(1) 第3次美幌町行政改革大綱及び第5次美幌町行政改革実施計画について (最終確認) (2) 意見交換 (3) その他

会長 皆さまお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、本年度最後の委員会になります。

町長も出席されていますので、ご意見がありましたら遠慮なく発言していただきたいと思います。

町長 本日はお疲れの中お集まりいただきありがとうございます。

第5回目の委員会で、今まで幅広くご審議、ご意見をいただきありがとうございます。

行政改革はわれわれにとっても非常に大切な計画であり欠かせないものです。

行政サービス制限条例についても担っていただき大変感謝しております。引き続きよろしくお願ひします。

会長 本日は最終確認ということになりますので、事務局から変更点等説明いただき、ご意見等ありましたらお願いいたします。

●議題1 第3次美幌町行政改革大綱及び第5次美幌町行政改革実施計画について(最終確認)

●議題2 意見交換

事務局 3月25日まで1ヶ月間パブリックコメントを実施しましたが、ご意見はございませんでした。ご報告いたします。

行政改革推進本部会議の中で、「行政経営」について表現をわかりやすくするため、大綱の「II 行政改革の基本的な考え方」の「1 本町が目指す新たな行政運営」を修正いたしました。

委員 言葉の表現だが、マネジメントの方が浸透しやすいのではと思いました。

また、「経営資産」と表記しているが、「資産」というより「資源」ではないのか。

事務局 「資源」となると消耗していくという意味合いも出てきますので、「資産」という表記と

しました。

委員 「2 行政経営の推進」の中段で「行政経営」と表記しているが、ここは「運営」ではと。

事務局 ここは、上のレベルでのPCDAサイクルを意味しており「経営」としています。個々の、財政運営とかになると「運営」になりますが、ここはその運営の上のレベルを意味し「経営」としています。

町長 「経営」と「運営」の使い分けをしっかりとるよう話をしています。そこで、先ほど事務局がご説明した使い分けとしています。

民間の経営感覚だけでは行政は担えないので、行政にしか出来ないことは行政としてしっかり行っていきたい。

町民の誤解を受けないよう使い方を注意しながら、説明しながら進めていきます。

会長 「経営資産」と使っているが、「資産」ではだめでしょうか。

事務局 経営資源は地方分権の時代から使われており、資源ではなく資産としています。

今までの行政改革は費用対効果を主としていましたが、今回の大綱の見直し、費用対効果のみではなく、町民のニーズを的確に把握し行政経営を進めて行きたいと考えています。

委員 「町民ニーズ」という言葉を多く使っている。言葉として軽くなってしまうので、表現を改めた方が良いのでは。

会長 多すぎる部分があるので、表現を改めて欲しい。

大綱について他にご意見はございませんか。

では、実施計画についてご説明願います。

事務局 実施計画については、前回会議でお渡しいたしました案と変更ございませんので、平成25年度からの取組をご説明いたします。

資料に基づき、「1 取組項目No.19 【寄附金制度の拡充】」について説明

事務局 資料に基づき、「2 取組項目No.39 【組織機構の見直し】」及び「3 取組項目No.43 【定員の適正管理】」について説明

事務局 資料に基づき「4 取組項目No.50 【町民主体のまちづくりの推進】」について説明

会長 ご質問はございませんか。

委員 No.43 定員の適正管理ですが、障害者の雇用率を確保するとありますが、現状はどうでしょうか。

事務局 確保すべき率については2.1%ほどであったと思いますが、数値は定かではございませんが、今現在率を満たしています。

会長 社会人枠の反応はいかがでしたか。

町 長 東京、千葉など道外からも幅広く応募いただきました。非常に優秀で素晴らしい経歴の方が多く採用する側としても非常に悩むほどでした。5月1日からの採用で進めております。

会 長 補助金についてご質問はございませんか。

委 員 非常に良いものであり、制度の周知をお願いしたい。

事務局 これからわかりやすいパンフレットなどを作成し周知して行きたい。

また、この補助金がふるさと寄附金を財源としているため、財源が枯渇しないようふるさと寄附金も引き続き拡充を図って行きます。

委 員 自治会でもいいですよ。ボランティアも。

事務局 例えばですが、講演会を行うにしても、今までは行政が進めてきたものでも、これからは、この補助金を活用し、ボランティア団体が自分たちで講師を招き実施することも可能になります。

委 員 悪質滞納者対策ですが、先日講演会がありましたが、弁護士の話聞いた中で、平成26年度実施というのはどうなのかと疑問が残る。

町 長 この件については、慎重に検討し進めてきたいと考えています。氏名公表も有りきではございませんので、慎重に検討していきたいと思えます。

委 員 債権の一元管理についても守秘義務の兼ね合いもありますので、勉強しながら慎重に進めなければと思いました。

会 長 私は、最高裁の例がありましたがこれはやらねばと思いました。

町 長 サービス制限についても、セーフティネットの部分もありますので、慎重に検討を進めていきます。

事務局 必ず策定すると決まっているものではございません。作る方向で議論を進めないと課題も見えませんが、土俵に上げて進めて行きたいと思えます。行革委員会では条例の制定についてご審議いただき、策定した場合、その後の認定審査等は別機関で実施いたします。

委 員 財源の確保の部分ですが、町の中で財源を確保するような内容が多い。もちろん自分たちの町で自分たちがサービスを受けるために応分を支払う事はもちろん当たり前のことであるが、マネジメントとして、外からどうするのかとの部分がなく、外に向かってどのようにするのか。相手を待つのではなく、もっと積極的に前向きに進めてもと思えます。ワタミファームの件も積極的に進めた結果だと思っています。

町 長 池委員の発言のとおりで、峠牧場の件ですがワタミファームに入ってもらうことになりました。外資を稼ぐということになると、やはり情報が重要であり、東京に、道の東京事務所がありまして、そこに行くとも情報が入ることもあります。そのため、各部局長は少なくとも年に1回は道庁や、東京事務所へ出向いて情報を発信するとともに情報を収集するよう旅費も予算組み

したところ です。

町の一般会計は94億程です。その内20億円は税収であり過去から安定している税収であり、好・不景気ある中、我々の力になっています。

内向きばかりではなく、外に向き積極的に進めていきたいと思っています。

委員 No.54に地域サポーター制度の見直しとあり、役場職員の地域活動の推進とありますが、ぜひ、積極的に進めていただきたい。

町長 積極的に進めて行きます。町長は車座トークなど外に出向く機会を作っており、職員も外に出るよう、まち育出前講座もそうですが、非常に好評をいただいています。職員も町民ですので、積極的に活動するよう進めてまいります。

委員 まち育出前講座も団体と職員の接点になるので、非常に良いものと思います。

町長 外に出るのは職員にとって非常に勇気がいるものですが、勇気と自身と誇りを持って職員が外に出るようにしています。

会長 他にご意見、ご質問はございませんか。

以上をもちまして、今年度の委員会はこれで終了いたしますが、引き続き翌年度以降もサービス制限関係も含め、ご協力願います。本日はお忙しい中、ありがとうございます。